

電力の需給状況と節電へのご協力のお願いについて

2021年1月12日

関西電力株式会社

関西電力送配電株式会社

昨年12月下旬以降、全国的に厳しい寒さが続いており、例年に比べ、電力需要が増加しております。1月8日には、西日本を中心に全国7エリアで最大需要が10年に1年程度と想定される規模を上回りました。一方、供給面では、悪天候により太陽光発電等の発電量が低下する日も少なくありません。

関西エリアにおいても、12月中旬から気温が大きく低下し、1月8日には、冬季の最大電力を約3年ぶりに更新するなど、需要が高まっている状況のなかで、原子力の定期検査の延長や火力のトラブル、水力の渇水など、複数の要因が重なり、関西エリア全体の需要がひっ迫した状況にあります。このため、年末以降、燃料の追加調達や火力・水力の増出力運転、自家発電保有事業者への増発依頼等を行うとともに、電力広域的運営推進機関を通じた応援融通（需要ひっ迫融通）を受け、安定供給に努めてまいりました。

しかし、海外からの追加調達（輸送）には時間がかかることや、全国の需給状況も厳しく、今後も厳しい寒さが続くようであれば、電力需要のさらなる悪化も想定されます。

お客さまをはじめ、広く社会の皆さまには大変ご迷惑とご心配をお掛けし、誠に申し訳ありませんが、寒波の中での暖房等の利用は継続いただきながら、日常生活に支障のない範囲で、不要な照明やその他の電気機器のご使用を控えるなど、電気の効率的な使用にご協力いただきますようお願いいたします。【2021年1月10日お知らせ済み】

お客さまをはじめ、広く社会の皆さまには大変ご迷惑とご心配をお掛けし、誠に申し訳ありませんが、寒波の中での暖房等の利用は継続いただきながら、日常生活に支障のない範囲で、不要な照明やその他の電気機器のご使用を控えるなど、電気の効率的な使用にご協力いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

電力の需給状況については、関西電力送配電のHPに掲載している「電力需給のお知らせ」をご確認ください。

以上